

いわて未来づくり機構 **いわて復興未来塾作業部会**に係る

活動実績及び活動計画(28.7.22)

テーマ： 復興や地域づくりの担い手の育成及び人材のネットワークづくり

座長：内宮 明俊

担当機関：岩手県復興局

**報告要旨**

復興を担う個人や団体など多様な主体が復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら復興の推進に生かしていくことが求められていることから、復興や地域づくりの担い手の育成、さらには、そうした人材のネットワークづくりを推進するため、「いわて復興未来塾」を開催する。

回	開催日時	会場	テーマ	参加者数
第1回	平成27年 5月30日(土)	ホテル ニュー カリーナ	復興のこれまでとこれから 被災者に寄り添う復興まちづくり	約150名
第2回	7月18日(土)	岩手大学 復興 祈念銀河ホール	復興まちづくりのコミュニティ戦略 被災者支援の現状と課題	約100名
第3回	9月20日(日)	陸前高田市コミ ュニティホール	三陸地域における産業振興の 新たな可能性	約110名
第4回	11月28日(土)	岩手大学 復興 祈念銀河ホール	女性が拓く三陸の復興	約100名
第5回	平成28年 1月23日(土)	盛岡劇場	東日本大震災での経験と教訓を伝える 若者たちが抱くふるさと復興	約300名
第6回	3月19日(土)	ホテルメトロポ リタン盛岡	復興のこれまでとこれから	約150名

※ 各回の報告者、パネリスト等は別紙のとおり。

**2. 平成27年度の活動に係る成果と課題等の評価(アウトカム)**

平成27年度事業計画	平成27年度事業実績・成果・課題
<p>(1) 目標・出すべき成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民等に復興に関する学びの場を提供するとともに、参加者同士の交流や連携を推進する。</li> </ul> <p>(2) 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回開催。</li> <li>・開催内容は、県内外の有識者による講演や被災地等で活躍する人たちによる報告など。</li> </ul>	<p>(1) 活動状況・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手大学や岩手銀行の大きな協力・支援の下、開催。</li> <li>・復興塾で有意義な講演や報告を聞くことができた。</li> </ul> <p>また、復興塾終了後の交流会では講師等と参加者が意見交換を行うとともに、大学生が自分たちの活動について発表するなど、復興に向けた様々な人的ネットワークが形成されつつある。</p> <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本復興塾について、より多くの人たちに参加いただくよう、参加者への協力依頼を含め周知に力を入れる必要がある。</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動計画

#### (1) 目標・出すべき成果

昨年度と同様、復興に関わりたいと考えている多くの方々に復興に関する学びの場を提供するとともに、参加された方々の交流や連携を推進する。

#### (2) 活動計画

復興の担い手となる人づくりの観点から、いわて復興未来塾を年4回開催。第1回目を6/18(土)に「本格復興の完遂にむけて～今後の課題と展望～」をテーマに開催し、約170名(交流会は約80名)の一般県民等が参加した。

今後は、第2回を8/7(日)に宮古市民文化会館、第3回を1/21(土)、第4回を3/18(土)にそれぞれ盛岡市内で開催予定。

## 平成27年度いわて復興未来塾開催実績

- 平成27年5月30日  
【第1回】
- 場所：ホテル ニューカーリーナ
- 報告1 「復興のこれまでとこれからー過去の震災にも学んでー」  
立命館大学教授 塩崎 賢明 氏
- 報告2 「釜石市における復興の現状・課題について」  
釜石市長 野田 武則 氏
- パネルディスカッション  
「被災者に寄り添う復興まちづくり」  
(パネリスト)  
塩崎教授、野田市長、達増知事  
(コーディネーター)  
花巻市教育員 役重 眞喜子 氏
- 平成27年7月18日  
【第2回】
- 場所：岩手大学工学部 復興祈念銀河ホール
- 報告1 「復興まちづくりのコミュニティ戦略  
～大槌町での実践例から～」  
東京大学高齢社会総合研究機構長 大方 潤一郎 氏
- 報告2 「被災者支援について」  
被災地支援活動を行っている方々からの活動報告  
釜石市市民生活部長 大久保孝信 氏  
NPO 法人いわてNPO-NET サポート事務局長 菊池広人 氏  
NPO 法人りくカフェ理事 吉田和子 氏
- 平成27年9月20日  
【第3回】
- 場所：陸前高田市コミュニティホール
- 基調報告「東日本大震災津波からの復興の取組について」  
岩手県知事 達増 拓也
- 報告1 「被災地における持続的な観光振興について」  
東洋大学国際地域学部観光学科  
准教授 島川 崇 氏
- 報告2 「水産振興における新たな取組について」  
有限会社 三陸とれたて市場  
代表取締役 八木 健一郎 氏
- パネルディスカッション  
「三陸地域における産業振興の新たな可能性について」  
(パネリスト)  
島川准教授、八木氏、達増知事  
(コーディネーター)  
一般社団法人 RCF 代表理事 藤沢 烈 氏

平成27年11月28日  
【第4回】

場所：岩手大学工学部 復興祈念銀河ホール  
基調報告「これからまでとこれからを考える」  
東京大学社会科学研究所 所長 大沢 真理 氏  
パネルディスカッション「女性が拓く三陸の復興」  
(パネリスト)  
一般社団法人 kai otsuchi  
理事長 平館 理恵子 氏  
釜石地方森林組合(釜援隊) 手塚 さや香 氏  
一般社団法人おらが大槌夢広場  
事務局長 神谷 未生 氏  
(コーディネーター)  
大沢所長

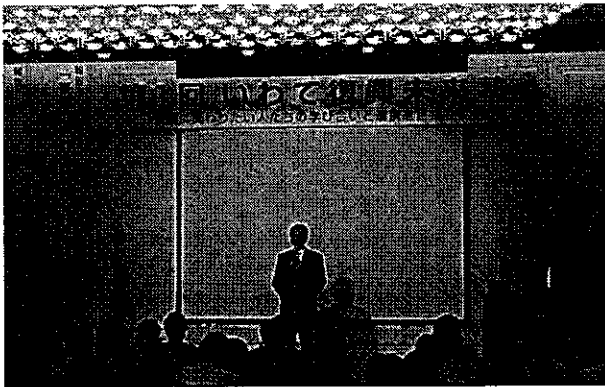
平成28年1月23日  
【第5回】  
(いわて三陸復興フ  
ォーラムと併催)

場所：盛岡劇場メインホール  
基調報告「東日本大震災での経験と教訓を伝える  
ー巨大災害の時代に生き残るためにー」  
東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦 氏  
パネルディスカッション「岩手の未来予想図を描く」  
(パネリスト)  
陸前高田市「うごく七夕まつり」森前組有志会  
代表 佐藤 徳政 氏  
普代村 鵜鳥神楽 神楽衆 笹山 英幸 氏  
劇団もしよこむ 代表 小笠原 景子 氏  
新生やまだ商店街協同組合  
事務局長 椎屋 百代 氏  
(コーディネーター)  
IBC岩手放送 東部支社長 江幡 平三郎 氏

平成28年3月19日  
【第6回】

場所：ホテルメトロポリタン盛岡本館4階「岩手の間」  
基調報告「東日本大震災の教訓と次なる備え」  
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構  
理事長 五百旗頭 真 氏  
パネルディスカッション「これまでの復興、これからの復興」  
(パネリスト)  
復興庁岩手復興局 局長 今井 良伸 氏  
岩手大学 学長 岩淵 明 氏  
岩手銀行 会長 高橋 真裕 氏  
知事 達増 拓也  
(コメンテーター)  
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構  
理事長 五百旗頭 真 氏  
(コーディネーター)  
IBC岩手放送 東部支社長 江幡 平三郎 氏

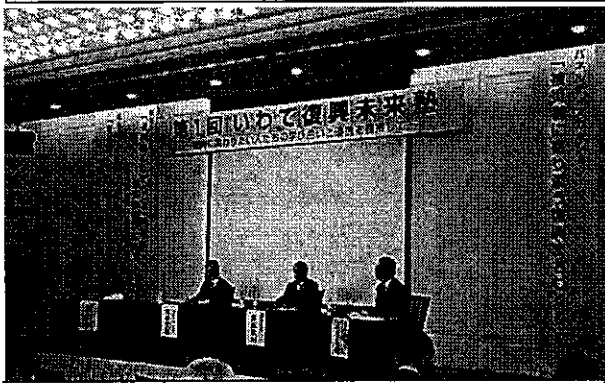
いわて復興未来塾の様子



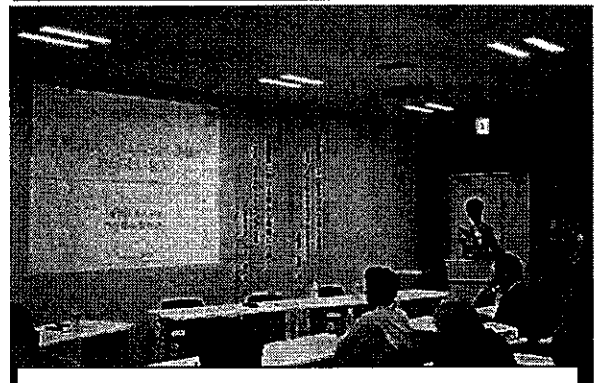
達増知事の挨拶



会場の様子



パネルディスカッション



講師の報告



報告者らによる意見交換



参加者からの質疑



交流会の様子



第1回

5月31日(日) 朝日新聞

復興 復興へ知恵結集を  
産学官の「未来塾」初会合

岩手の産学官が知恵を出し合う「未来塾」の復興をテーマとする「いわて復興未来塾」の初会合が30日、盛岡市内であった。よりよい復興に向け学識者や被災自治体首長らが意見を交わし、市民が耳を傾けた。復興に携わる人やこれからかかわろうと思っている人たちが専門領域を超えて自由に参加できる場として、県復興局が事務局として立ち上げた。隔月で全6回の開催を予定している。

1995年に発生した阪神大震災の復興に携わった塩崎啓明・立命館大教授(都市計画)は、阪神で被災者公営住宅での強姦死など復興の過程で被災者の生活が破壊される「復興災害」があったと指摘。復興政策の刷新を

めには何度も話し合いを重ねることが田舎な復興につながる」と語った。

「被災者に寄り添い復興を支える」と題したパネルディスカッションでは、塩崎知事らが「地域社会の中で一人ひとりが生活再建して初めて復興と言えらる。被災者の顔が見える範囲で市町村が支援すること、また、三陸全体で広域的な連携しながら地域復興を進めていきたい」と述べた。

第2回

7月19日(日) 岩手日報

ニューズフッショ

■岩手大で復興担い手育成塾  
復興を担う人材育成に向けて  
学び合う第2回いわて復興未来塾(いわて未来づくり機構主催)は18日、盛岡市上田の岩手大で開かれた。



学生を含む約100人が参加。大館町のまちづくりを支援する東京大高齢社会総合研究機構の大方潤一郎機構長が「復興まちづくりのコミュニティー戦略」と題して講演した。写真。

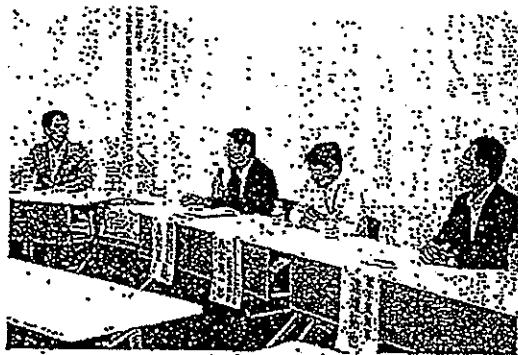
大方氏は、移動販売車の拠点となり、住民が交流するような広場を例に「大都市型のコミュニティーではなく、必要な機能と場を整備するアイデアが重要になる」と強調した。

同塾は本年度6回開催し、次回は9月20日の予定。

# 観光水産「物語」が鍵

## 陸前高田で復興未来塾

### 講演で産業振興探る



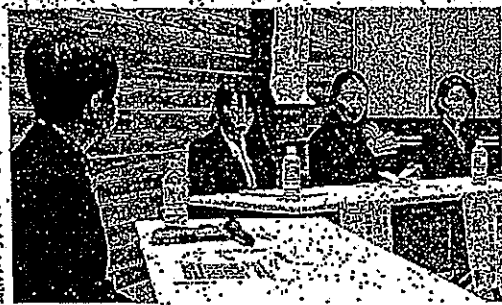
三陸の産業振興について意見交換する(右から)遠増知事、八木健一郎代表取締役、島川崇准教授

震災復興を担う人材 市高田町の市コミニ  
育成を目指す第3回い  
わて復興未来塾(いわ  
産業振興の新たな可能  
て未来よりいっしょに  
性を探った。  
は20日、陸前高田  
市内外から約1100

人が参加。東洋大国際  
地域学部国際観光学科  
の島川崇准教授は「被  
災地における持続的な  
観光振興について」、  
有限会社三陸とれたて  
市場の八木健一郎代表  
取締役は「水産振興に  
おける新たな取り組み  
について」をテーマに  
講演した。  
島川准教授は被災地  
観光について「通常の  
観光地よりも再び訪れ  
ようとする意識が高  
い」との傾向を紹介。  
「あくまで震災遺構は  
地域の資源を語る道具  
であり、それに関連す  
るストーリーを伝える  
ことで一過性ではなく  
次世代に受け継がれ  
る」と述べた。  
八木代表取締役は先  
進的な凍結技術を取り  
入れた産地に加工施設  
を整えたいと、観光客に  
漁業体験を提供するも  
の事業などを紹介。  
「産地や生産者の物  
産を直接取り扱う」商  
社を設立するつもりで  
いると述べた。  
遠増知事は「お話を聞  
くと、産地振興の大切  
さを改めて感じた。同  
塾は本年度6回開催  
し、次回11月28日の  
予定。

# 女性の視点で三陸復興

## いわて未来塾盛岡で講演、討論



女性が拓く三陸の復興をテーマに意見を交わす(左から)大沢喜理さん、平倉理恵子さん、手塚まゆみさん、神谷未生さん

震災復興を担う人材 増えることなどを指  
の育成や交流を目的と  
した第4回いわて復興  
未来塾(いわて未来)  
くも機軸主催)は29日  
盛岡市上田の岩手大工  
学部復興研究センター  
で開かれ、女性の視  
点による三陸の復興を  
テーマに講演やパネル  
討論を行った。  
約100人が参加。  
東京大社会科学研究所  
の大沢喜理所長が「復  
興」これまでにこれか  
らを考えた」と題して  
基調報告した。  
大沢所長は災害が大  
きいほど女性の犠牲が  
多く、災害時には性別  
分業が強化されがち  
で、炊き出しなどの女  
性の無償労働の負担が







岩手沿岸の復興未来塾  
て復興未来塾

# 岩手沿岸の復興へ議論

盛岡で「未来塾」

岩手沿岸での東日本大震災の復興の在り方を考える「いわて復興未来塾」が19日、盛岡市のホテルであり、産官の今後の課題について理解を深めた。県や県内の大学、金融機関などでつくるいわて未来づくり機構

の主催。約150人が参加した。

国の復興構想会議議長を務めたひょうご震災記念21世紀機構の五百旗頭真理事長が基調講演し「過去の大きな災害の中でも、東日本大震災は財源や制度の面で最も手厚い支援がなされた。全国的に明日はわが身、という意識で自治体や各団体、組織が互いに支える仕組みが重要だ」と述べた。

連増知事も知事らのパネル討論もあつた。岩手銀行の高橋真裕会長は「県内企業の復興需要はピークを過ぎた。復興支援に頼らず付加

価値を高めることが重要」と指摘。岩瀬明岩手大学長は「専門性だけではなく、総合力を身に付けた学生を育成したい」と話した。連増知事は被災者の心身

のケアに重点的に取り組む考えを強調。復興庁岩手復興局の今井良伸局長は住宅再建や観光振興を強化する国の方針を説明した。

平成 28年度

# 第1回 いわて復興未来塾

～新たなステージ 復興・創生へ～

**テーマ：本格復興の完遂へ向けて～今後の課題と展望～**

13:30 開会・知事挨拶

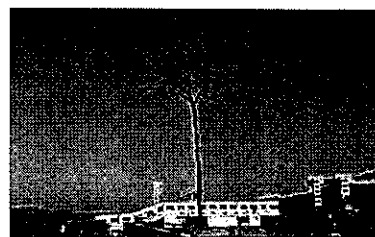
13:35～13:55 挨拶  
国における復興の取り組み～これまでとこれから～  
復興庁事務次官 岡本 全勝 氏

13:55～14:40 基調報告Ⅰ  
復興から未来へ  
～キリン絆プロジェクトの取り組みについて～  
キリン株式会社 CSV 推進部長 林田 昌也 氏

14:45～15:30 基調報告Ⅱ  
「サヴァ缶」に見るマーケティングの重要性  
一般社団法人東の食の会事務局代表 高橋 大就 氏

15:40～16:50 パネルディスカッション  
三陸の本格復興に向けて  
・現在の活動と課題、今後の方策等について意見交換  
・会場との意見交換・質疑応答  
パネリスト：林田 昌也 氏 ・ 高橋 大就 氏  
君ヶ洞 剛一 氏 ・ 岩手県知事 達増 拓也  
コーディネーター：株式会社 IBC 岩手放送  
アナウンス部 部長 江幡 平三郎 氏

16:50 閉会



林田 昌也 氏



高橋 大就 氏



君ヶ洞 剛一 氏



岩手県知事  
達増 拓也

**交流会**

17:00 ～ 18:00

会場 ホテル東日本 14階「オーロラ」 / 会費 3,000円  
講師・パネリスト・参加者及び主催者による交流会を行います



主催：いわて未来づくり機構（岩手県復興局復興推進課）  
後援：復興庁（「東北復興月間」イベント事務局）



新たなステージ 復興・創生へ